

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第1部門第2区分  
 【発行日】令和6年7月1日(2024.7.1)

【国際公開番号】WO2023/132178  
 【出願番号】特願2023-572387(P2023-572387)

【国際特許分類】

A 6 1 B 5/1455(2006.01)

A 6 1 B 5/16(2006.01)

A 6 1 B 5/01(2006.01)

A 6 1 B 5/02(2006.01)

A 6 1 B 5/022(2006.01)

10

【F I】

A 6 1 B 5/1455

A 6 1 B 5/16 1 0 0

A 6 1 B 5/01 1 0 0

A 6 1 B 5/02 G

A 6 1 B 5/02 3 1 0 A

A 6 1 B 5/02 3 1 0 J

A 6 1 B 5/022 4 0 0

20

【手続補正書】

【提出日】令和6年4月8日(2024.4.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

30

生体情報測定システムにより実行される方法であって、  
 ユーザの血糖レベルに影響を与えるイベントの前の前記ユーザの末梢血行動態指標値と  
 前記イベントの後の前記ユーザの末梢血行動態指標値とをそれぞれ測定することと、  
 前記イベントの前後で測定された前記末梢血行動態指標値の変化から、前記ユーザの糖  
 代謝能力を推定することと、  
 を含む方法。

【請求項2】

請求項1に記載の方法であって、  
 前記測定することは、前記イベントの前から前記イベントの後まで連続的又は間欠的に  
 前記ユーザの末梢血行動態指標値を複数回測定することを含む、方法。

40

【請求項3】

生体情報測定システムにより実行される方法であって、  
 ユーザの睡眠中に前記ユーザの末梢血行動態指標値を連続的又は間欠的に複数回測定す  
 ることと、  
 前記ユーザの睡眠中に測定された前記末梢血行動態指標値の変化から、前記ユーザの糖  
 代謝能力、末梢血行動態調整能力、又は睡眠の質を推定することと、  
 を含む方法。

【請求項4】

生体情報測定システムにより実行される方法であって、  
 一日以上の期間にわたってユーザの末梢血行動態指標値を連続的又は間欠的に複数回測

50

定することと、

測定された前記末梢血行動態指標値の変化から、前記ユーザの糖代謝能力、又は末梢血行動態調整能力を推定することと、

を含む方法。

【請求項 5】

請求項 1 乃至 4 のうち何れか 1 項に記載の方法であって、

前記ユーザの末梢血行動態指標値の変化が小さいときに、前記ユーザの糖代謝能力が低いと判定することを更に含む、方法。

【請求項 6】

請求項 1 乃至 4 のうち何れか 1 項に記載の方法であって、

前記測定することは、前記ユーザの心臓からの高さが同じ測定位置で前記ユーザの末梢血行動態指標値を測定することを含む、方法。

10

【請求項 7】

請求項 1 乃至 4 のうち何れか 1 項に記載の方法であって、

前記ユーザの末梢部位の皮膚温度を測定することと、

前記皮膚温度に応じて前記末梢血行動態指標値を補正することと、

を更に含む、方法。

【請求項 8】

請求項 1 乃至 4 のうち何れか 1 項に記載の方法であって、

前記ユーザの脈拍間隔を推定することと、

前記脈拍間隔の変動から前記ユーザの自律神経機能の指標値を計算することと、

前記自律神経機能の指標値に応じて前記末梢血行動態指標値を補正することと、

を更に含む、方法。

20

【請求項 9】

請求項 1 乃至 4 のうち何れか 1 項に記載の方法であって、

前記ユーザの末梢部位で光電脈波信号を測定することと、

前記光電脈波信号の特徴量から、前記ユーザの末梢血行動態指標値を算出することを更に含む、方法。

【請求項 10】

生体情報測定システムにより実行される方法であって、

ユーザの血糖レベルに影響を与えるイベントの前の前記ユーザの末梢血行動態指標値及び血糖値と、前記イベントの後の前記ユーザの末梢血行動態指標値及び血糖値とをそれぞれ測定することと、

30

前記イベントの前後で測定された前記末梢血行動態指標値の変化及び前記血糖値の変化から、前記ユーザの糖代謝能力を推定することと、

を含む方法。

40

50